

2022年度金沢大学国際機構主催

日本SDGs・BR研修サマープログラム 実施報告書

1. 日時: 2022年8月7日(日)~13日(土)

2. 担当教員: ママードゥア・アイーダ(金沢大学国際機構准教授)

引率教員: ブシマキナ・アナスタシア(金沢大学国際機構非常勤講師)

3. 参加学生: 合計(修了者数): 11名(11名)

日本MAB計画連携大学間ネットワーク加盟大学(JU-MAB)生

(1) 金沢大学生: 2(2)名

(2) 横浜国立大学生: 2(2)名

(3) 京都大学生: 1(1)名

(4) 宮崎大学生: 2(2)名

(5) 筑波大学生: 2(2)名

(6) 愛媛大学生: 2(2)名

4. プログラム内容・目的

1) 目的: 2022年に発足した日本MAB連携大学間ネットワーク(JU-MAB)参画大学(金沢大学、横浜国立大学、京都大学、筑波大学、宮崎大学、愛媛大学とユネスコエコパーク(BR)をはじめとする各ユネスコ認定地域、地方自治体とが連携し、若者世代と高齢者世代それぞれの強みを活かした世代間学習カリキュラムを開発・実施すること。高齢者世代住民と世代間学習を通じて、若者世代への「SDGs達成の担い手育成」教育を推進し、将来の発展基盤の構築に貢献する。

2) 内容:

- i) 白山BR(石川県白山市)と大台ヶ原・大峰・大杉谷BR(三重県大台町)を訪問し、地元高齢者世代住民との生活を体験した。
- ii) ユネスコ認定地域の実情を学び、理解を深めるために、地元住民とともに社会奉仕活動・ボランティア活動を行った。
- iii) 地場産業・観光業・農林水産業、伝統工芸品の分野で、地元中小企業や個人事業主との交流・意見交換を実施した。

5. スケジュール(詳細)

日付	活動内容(予定)
8月7日(日)	参加者集合、白山 BR へ移動、オリエンテーション
8月8日(月)	白山国立公園、白山砂防・保護管理活動について学習(講演)
8月9日(火)	ワークショップ「山と生きる白峰の生活を知る」
8月10日(水)	白峰村を出発、大台町へ移動、大台ヶ原・大峰・大杉谷 BR の紹介
8月11日(木)	大台町のアマゴとワサビ養殖について学習 砂防建設現場の見学
8月12日(金)	宮川の源流・中流について学ぶ 川・生物の観察、伝統漁法の体験(紹介)
8月13日(土)	プログラム終了、大台町を出発(各自帰宅)